

2019年6月25日
文化シャッター株式会社

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、取締役会全体の機能をさらに向上させることを目的として、取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、下記のとおり、その概要についてお知らせいたします。

記

1. 実効性評価方法の概要

- (1) 対象者：取締役全員（監査等委員である取締役5名を含む13名）
- (2) 評価方法：対象者全員が「2018年度取締役会実効性評価アンケート」（自己評価）に回答し、その結果について集計および分析を実施
- (3) 評価対象：2018年度中に開催された取締役会
- (4) 評価項目：「取締役会の構成」、「取締役会の運営」、「取締役に対する支援体制」、「取締役自身の取り組み」、「監査等委員会について」、「総括」
- (5) 実施期間：2019年2月～3月

2. 実効性評価結果の概要

当社取締役会は、各取締役の自己評価の結果、概ね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保できていると分析・評価いたしました。

一方で、取締役会の実効性をさらに高めていくために、適時の業務執行報告やさらに活発な議論、意見交換等の必要性を再認識いたしました。

3. 今後の取り組み

当社取締役会は、各取締役の自己評価結果および意見を踏まえ、認識された課題の解決や実効性評価項目の見直し等に継続的に取り組むことで、当社取締役会のさらなる実効性の向上に努めてまいります。

【参考】

「コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方」

<https://www.bunka-s.co.jp/ir/management/governance/>

以上